

平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	奥志賀高原リンドウの丘整備事業
事業主体 (連絡先)	奥志賀高原常会 (常会長 杉山 進 Tel.0269-34-2551)
事業区分	(5)環境保全及び景観形成に関する事業 (6)A特色ある環境づくり
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,764,106 円 (うち支援金 : 765,000 円)

事業内容

- 1 リンドウの移植事業
遊歩道沿いに地区住民、地元中学生等によりリンドウの移植を行い、併せてガイドトレッキングを行った。
(移植、刈払い、ロープによる仕切り、案内看板設置等)
- 2 奥志賀高原リンドウの丘PR
リンドウの丘整備について、チラシを作成し、地区の環境保全の取組みと奥志賀高原の自然をPRした。
- 3 奥志賀溪谷散策路の補修
奥志賀高原を散策する遊歩道にあった木橋が平成25年10月の台風で流されてしまったため、この橋の復旧を行った。



【リンドウ移植作業】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①スキー場内の環境保全実践者の増
従来、スキー場管理及び水資源の保全の観点からの環境保全を行っていたが、新たに景観形成についても地区住民が取り組むことができたことに加え、環境保全に向かう機運が生まれた。また、安全に散策道を歩いていただくことができた。
- ②観光客入込の増 (9月)
昨年に引き続きチラシを継続的に配布できた効果によりリンドウの丘を目的に新規のお客様に来訪いただくことができた。(1日平均：平日約50名、休日約200名※対H24年比120~130%増の来場があった。)
- ③若い世代への普及
リンドウの移植事業にあたっては、地元の山ノ内中学校の生徒20名にも作業に参加いただき、併せてガイド

【目標・ねらい】

- ①スキー場内の環境保全の実践者の増
H26対H25比 100%増
- ②奥志賀高原地区(9月)の観光客入込みの増
H26対H25比 150%増

※自己評価【 A 】

【理由】

リンドウ移植作業に地域住民のみならず、奥志賀高原を訪れたことがある観光客、地元中学生など多くの人が関わることができ、結果閑散期の観光客の入込増につながった。

(別記様式第12号) (第3の8関係)

トレッキングも行い、奥志賀高原の魅力を自然に触れながら体験してもらったことで、地元の地域資源のすばらしさを再認識してもらおうとともに、郷土愛の醸成につなげることが出来た。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今後も継続的にリンドウの群生地拡大に努めるとともにヤナギランやニッコウキスゲなど他の植生も活用した景観形成を検討する。

今後、地区住民だけでなく奥志賀高原を訪れる多くのお客様と一緒に環境保全活動を行うことで、継続的に志賀高原の環境整備を行う。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある